

野菜花き 7月下旬巡回調査結果の概要

【東北信】 巡回日 7月22日、23日、24日

1 トマト

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。7月上旬に引き続きCMVの感染株がみられた。防除によりアブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類の寄生はみられなかった。オオタバコガの被害果もわずかであった。

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は、着果中であった。オンシツコナジラミの寄生がやや多かった（図1）。病害の発生はみられなかった。



図1 トマトのオンシツコナジラミの幼虫
（長野市）

2 きゅうり

長野市の巡回ほ場（施設栽培）は、収穫中であった。病害では、うどんこ病の発生がやや多かった。虫害では、ハダニ類の発生が多かった。また、アザミウマ類の寄生もみられたが、わずかであった。

中野市の巡回ほ場（露地栽培）は、収穫中であった。アザミウマ類（優占種はヒラズハナアザミウマ）の発生が多く、全調査株にアザミウマ類の寄生が確認された（図2）。また、アブラムシ類の寄生もみられたが、わずかであった。病害の発生はみられなかった。



図2 きゅうりのアザミウマ類
（中野市）

3 いちご

南牧村の巡回ほ場は、着果期であった。アザミウマ類の寄生花率は、7月上旬の調査時よりもさらに高くなり、平年と比べてもやや高かった。また、ハダニ類もスポット的に発生がみられた。病害の発生はみられなかった。

4 キャベツ

小諸市の巡回ほ場は、収穫期であった。ウワバ類等チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、収穫期であった。病害では、株腐病、黒腐病の発生がわずかにみられた。虫害では、チョウ目害虫の被害株率が高かった。

軽井沢町の巡回ほ場は、生育期（7～8葉期）であった。チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

長野市の巡回ほ場は、収穫期であった。病害では、黒腐病、黒斑細菌病の発生がみられ、いずれも平年と比べ、発病株率が高かった。虫害では、チョウ目害虫の被害が調査株の全てでみられたが、7月上旬の調査で寄生がみられたウワバ類の幼虫は、防除により、みられなかった。

5 ブロッコリー

南牧村の巡回ほ場は、花蕾肥大期であった。チョウ目害虫の被害株がみられ、被害株率は平年と比べやや高かった。病害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、生育期（5～6葉期）であった。病虫害の発生はみられなかった。

6 はくさい

上田市の巡回ほ場は、定植前であった。

小諸市の巡回ほ場は、作付けがなかった。

小海町の巡回ほ場は、結球期であった。チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、生育期（4～5葉期）であった。チョウ目害虫の被害株がわずかにみられた。病害の発生はみられなかった。

7 レタス

上田市の巡回ほ場は、生育期（7～8葉期）であった。すそ枯病の発生がわずかにみられた。虫害の発生はみられなかった。

小諸市の巡回ほ場は、結球期であった。斑点細菌病の発病株率が平年と比べ高かった。また、すそ枯病の発生もわずかにみられた。虫害の発生はみられなかった。

南牧村の巡回ほ場は、結球始期であった。斑点細菌病の発病株率が平年と比べやや高かった。また、すそ枯病の発生もわずかにみられた。虫害の発生はみられなかった。

御代田町の巡回ほ場は、結球始期であった。斑点細菌病の発生がみられ、少発生であったが、平年と比べると発病株率はやや高かった。また、すそ枯病の発生もわずかにみられた。虫害の発生はみられなかった。

8 アスパラガス

小諸市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎期であった。病害では、茎枯病の発生がみられ、発病株率は、同時期の平年値と比べ高かった。虫害では、アザミウマ類の寄生株率が100%と高かった。

小布施町の巡回ほ場（雨よけ栽培）は、立茎繁茂期であった。病害では、茎枯病の発生がみられ、発病株率は同時期の平年値と比べ高かった。虫害では、ハダニ類の寄生が多く、寄生株率が平年と比べ高かった。また、アザミウマ類の寄生もみられたが、寄生株率は平年並であった。

飯山市の巡回ほ場（露地栽培）は、立茎繁茂期であった。病害では、茎枯病の発生がみられ、発病株率は同時期の平年値と比べやや低かった。虫害では、アザミウマ類の寄生株率が高かった。

9 ながいも

長野市のながいもは、萌芽期であった。アブラムシ類の寄生はみられなかった。

10 ばれいしょ

小諸市の巡回ほ場は、地上部が整理されていた。

11 きく

佐久穂町の巡回ほ場は、着蕾期（開花直前）であった。病害虫の発生はみられなかった。

【中南信】 巡回日 7月16日、17日、18日、22日

1 トマト

南箕輪村の巡回ほ場（施設・抑制栽培）は、定植直後であった。病害虫の発生はみられなかった。

伊那市の巡回ほ場（露地栽培）は、着果中であった。葉および果実にオオタバコガ（少発生）の食害がみられた。

安曇野市の巡回ほ場（露地栽培）は、着果中であった。アザミウマ類の寄生および白ぶくれ症果（いずれも少発生）がみられたほか、オオタバコガによる食害（中発生）もみられた（図3）。

病害では、葉に灰色かび病（少発生）の発生がみられた。



図3 トマトのオオタバコガ（安曇野市）

2 きゅうり

高森町の巡回ほ場（施設・半促成栽培）は、収穫中であった。花にわずかにアザミウマ類（少発生）の寄生がみられたほか、葉にハモグリバエ類幼虫の線孔（少発生）がみられた。

3 すいか

飯島町の巡回ほ場は、収穫期であった。病害虫の発生はみられなかった。

松本市の巡回ほ場は、着果中であった（前回から場所移動）。病害虫の発生はみられなかった。

4 キャベツ

塩尻市の巡回ほ場は、収穫期であった。軟腐病による株の枯死（少発生）がみられた。

朝日村の巡回ほ場は、収穫期であった。葉にウワバ類（少発生）の寄生がみられたほか、軟腐病による株の枯死（少発生）がみられた。

茅野市の巡回ほ場は、収穫期であった。こちらも軟腐病による株の枯死（少発生）がみられた。

5 はくさい

木祖村の巡回ほ場は、生育期であった（6～7葉、前回から場所移動）。病害虫の発生はみられなかった。

6 レタス

塩尻市および朝日村の巡回ほ場は、収穫期であった。どちらも軟腐病による株の枯死（少発生）がみられた。

7 アスパラガス

豊丘村（雨除け栽培）の巡回ほ場は、茎葉繁茂期であった。払落しによりアザミウマ類およびアブラムシ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。

飯島町（雨除け栽培）の巡回ほ場は、立茎中であった。払落しによりアザミウマ類（少発生）の寄生がみられたほか、茎枯病（少発生）の発生もわずかにみられた。

池田町（露地栽培）の巡回ほ場は、立茎中であった。払落しによりアザミウマ類およびアブラムシ類（いずれも少発生）の寄生がみられた。病害では、茎枯病（少発生）の発生がみられた。

8 ねぎ

南箕輪村の巡回ほ場は、本葉6.5~7.0葉であった。虫害では、アザミウマ類（多発生）およびネギハモグリバエ（少発生）の寄生がみられたほか、ネギコガ（中発生）による食害もみられた。病害では、黒斑病およびさび病（いずれも中発生）の発生がみられた。

山形村の巡回ほ場は、本葉6.0葉であった。アザミウマ類（多発生）、ネギハモグリバエ（中発生）およびネギコガ（少発生）の寄生がみられた（図4）。病害では、黒斑病（少発生）の発生がみられた。



図4 ネギアザミウマによる食害（山形村）

9 ながいも

山形村の巡回ほ場は、萌芽が始まっていた。病害虫の発生はみられなかった。

10 きく

富士見町の巡回ほ場は、破蕾期～出荷前（草丈約116cm）であった。病害虫の発生はみられなかった。